

ITホールディングス株式会社 第6期定時株主総会

平成26年6月25日(水曜日)

第6期定時株主総会

目的事項（報告事項・決議事項）

報告事項

1. 第6期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第6期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

第1号議案	剰余金処分の件
第2号議案	取締役9名選任の件
第3号議案	監査役1名選任の件

質疑応答

議案の採決

第6期定時株主総会

議決権を有する株主数

株 主 数

11,915名

総株主の議決権数

議 決 権 数

873,933個

監査役会の監査報告

1. 事業報告等の監査結果

事業報告およびその附属明細書	→ 適法
取締役の職務の執行	→ 適法
内部統制システムに関する内容等	→ 相当

2. 計算書類およびその附属明細書の監査結果

会計監査人の監査の方法および結果	→ 相当
------------------	------

3. 連結計算書類の監査結果

会計監査人の監査の方法および結果	→ 相当
------------------	------

報告事項

1. 第6期 事業報告

- 事業の経過およびその成果
- 設備投資の状況
- 資金調達の状況
- 対処すべき課題

2. 第6期 連結計算書類

3. 第6期 計算書類

事業の経過および成果

当社を取り巻く環境

我が国経済

政府の積極的な
財政・金融政策等を背景に、
個人消費、鉱工業生産等が牽引



緩やかに景気が回復

事業の経過および成果

当社を取り巻く環境

日銀短観

**当年度ソフトウェア投資計画
前年度比8.6%増加見通し発表
(平成26年3月調査)**



事業の経過および成果

当社を取り巻く環境

情報サービス産業

ＩＴ投資意欲の高まりが、
下期には産業分野でも回復

事業環境は改善傾向



事業の経過および成果

業績：平成26年3月期（当連結会計年度）

平成25年4月1日～平成26年3月31日

（単位：百万円）

平成26年3月期（第6期）		
売上高	346,647	+2.6%
営業利益	19,510	+7.4%
経常利益	18,971	+8.8%
当期純利益	7,913	+34.9%

事業の経過および成果

業績：平成26年3月期（当連結会計年度）

平成25年4月1日～平成26年3月31日

（単位：百万円）

平成26年3月期（第6期）		
売 上 高	346,647	+ 2.6%
営業利益	19,510	+ 7.4%
経 常 利 益	18,971	+ 8.8%
当期純利益	7,913	+ 34.9%

事業の経過および成果

業績：平成26年3月期（当連結会計年度）

平成25年4月1日～平成26年3月31日

（単位：百万円）

平成26年3月期（第6期）		
売上高	346,647	+2.6%
営業利益	19,510	+7.4%
経常利益	18,971	+8.8%
当期純利益	7,913	+34.9%

事業の経過および成果

業績：平成26年3月期（当連結会計年度）

平成25年4月1日～平成26年3月31日

（単位：百万円）

平成26年3月期（第6期）		
売 上 高	346,647	+ 2.6%
営 業 利 益	19,510	+ 7.4%
経 常 利 益	18,971	+ 8.8%
当期純利益	7,913	+ 34.9%

事業の経過および成果

業績： 平成26年3月期（当連結会計年度）

売上高  **前期比：増収**

- 顧客のIT投資ニーズを的確に捉え、
主要3セグメントの全てにおいて好調に推移

利益面  **前期比：増益**
(営業利益・経常利益・当期純利益)

- 販売費の増加や不採算案件の影響等はあったものの、増収効果やコスト削減等により前期比増
- 当期純利益については、特別損失が減少したことなどにより前期比増

事業の経過および成果

セグメント別の状況：平成26年3月期（当連結会計年度）

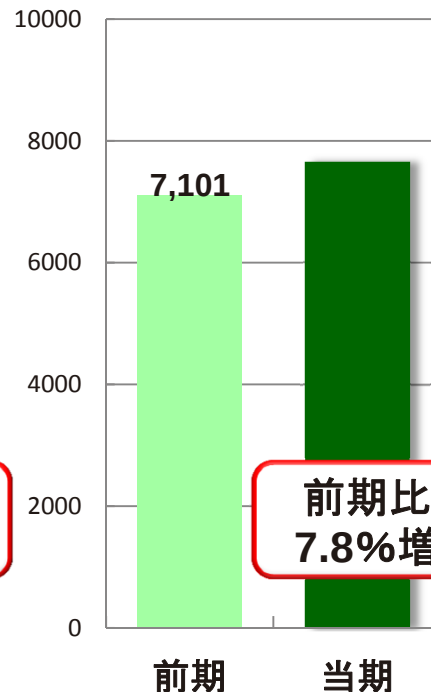
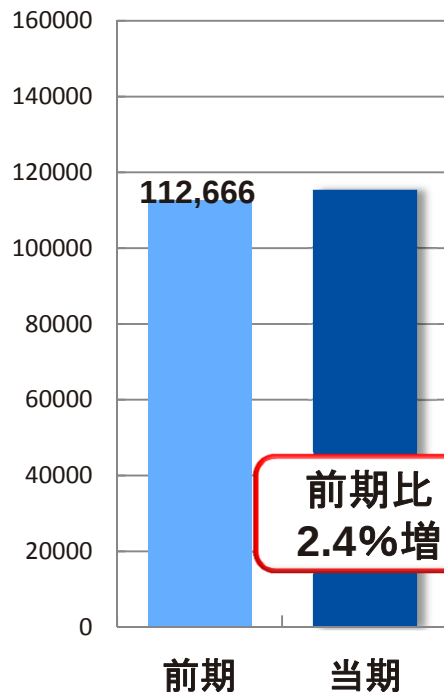
ITインフラストラクチャーサービス

売上高

115,360百万円

営業利益

7,652百万円



◆データセンター事業の利用拡大

◆少額投資非課税制度（NISA）関連対応を含むBPO事業の好調な推移

増収増益

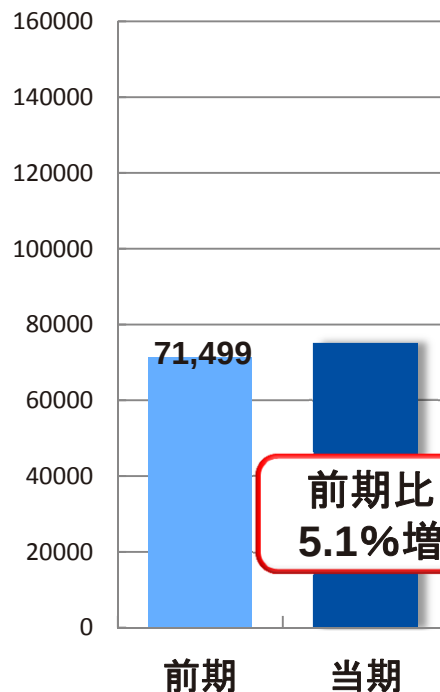
事業の経過および成果

セグメント別の状況：平成26年3月期（当連結会計年度）

金融ITサービス

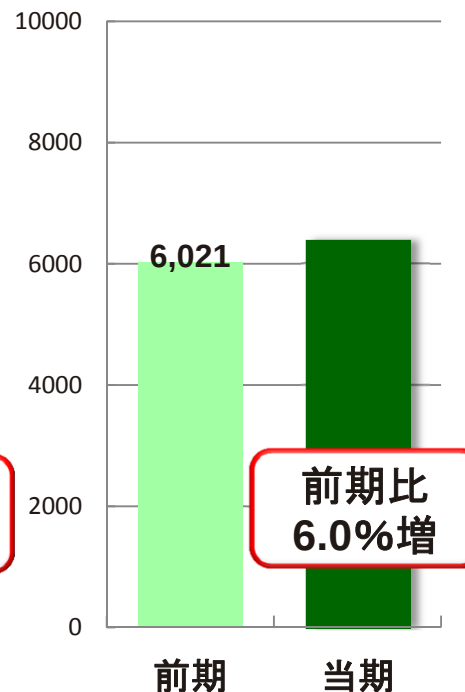
売上高

75,148百万円



営業利益

6,385百万円



◆ クレジットカード、
銀行、保険の
主要顧客における
緩やかなIT投資拡大

増収増益

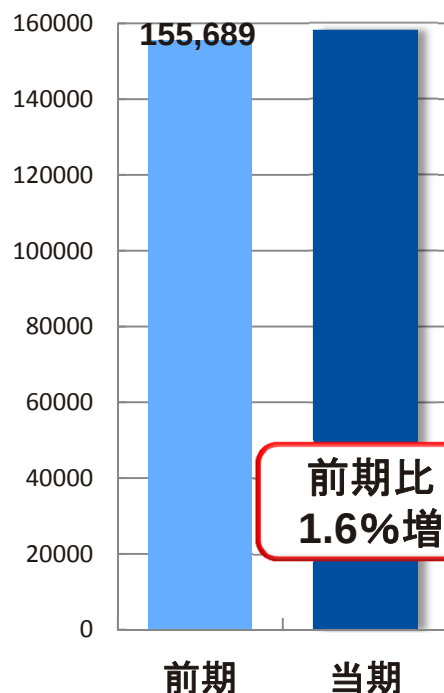
事業の経過および成果

セグメント別の状況：平成26年3月期（当連結会計年度）

産業ITサービス

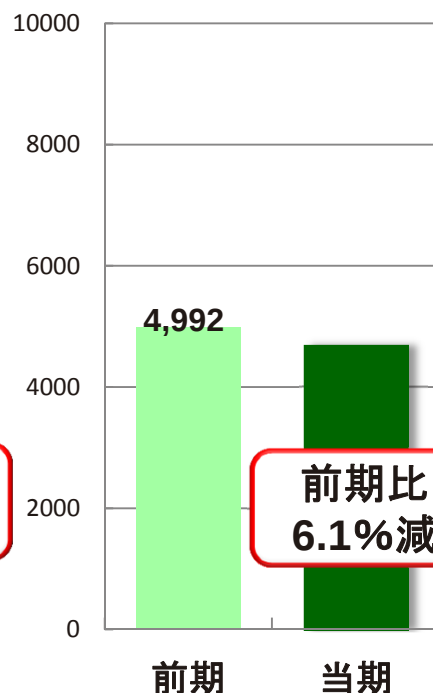
売上高

158,234百万円



営業利益

4,687百万円



◆大型開発案件に係る
反動減の影響を需要増
の取込みでカバー

増収

- ・ 営業体制強化に向けた
販売費増加
- ・ 不採算案件の影響等

減益

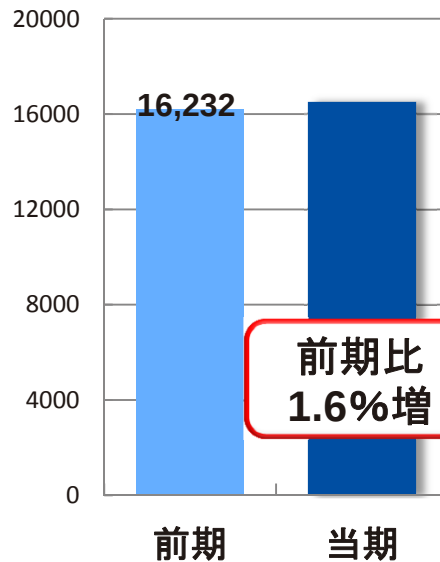
事業の経過および成果

セグメント別の状況：平成26年3月期（当連結会計年度）

その他

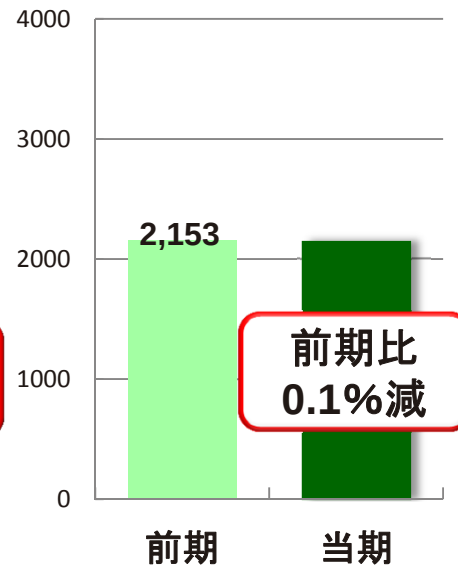
売上高

16,498百万円



営業利益

2,152百万円



事業の経過および成果

第2次中期経営計画（平成24年度～平成26年度）

当社グループは、グループが一体となって
変革を成し遂げるＩＴ企業グループを目指し、
第2次中期経営計画を
平成24年4月よりスタート

基本コンセプト

トップライン重視

as One Company

進取果敢

事業の経過および成果

第2次中期経営計画(当連結会計年度)

- ✓ これまでの実績や施策の取り組み状況を踏まえ、中期経営計画の基本コンセプトに基づくグループ経営方針を策定
- ✓ グループを挙げて、諸施策を推進

グループ経営方針

業績回復を確実にすべく、
トップラインを「成長軌道」に乗せる

グループコミュニケーション基盤の更なる強化と
オープン＆ダイナミックな風土を醸成する

サービス化・グローバル化の拡大を図る

事業の経過および成果

第2次中期経営計画

グループ全体最適に向けた推進体制を強化



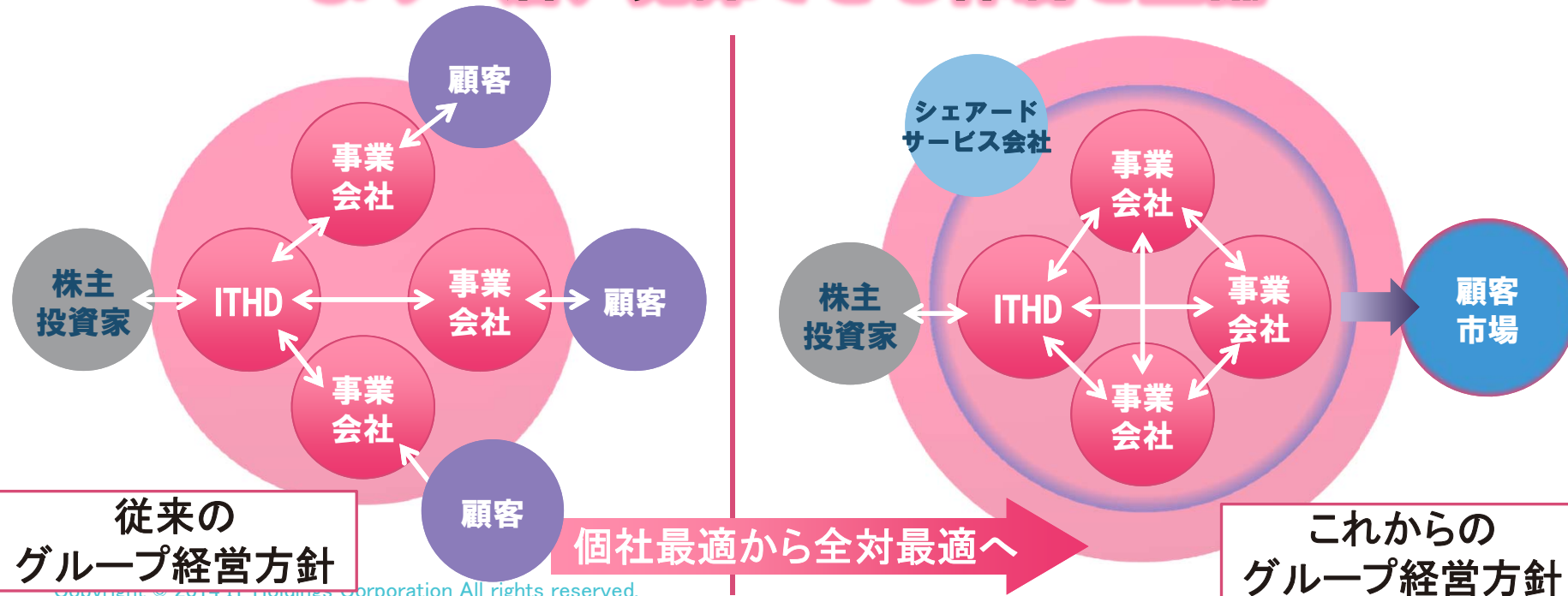
**グループ主要会社の経営トップが当社取締役を兼任
新経営体制において諸施策を推進**

事業の経過および成果

第2次中期経営計画：進捗状況

1. トップライン重視

ITホールディングスグループとしての力を
より一層、発揮できる体制を整備



事業の経過および成果

第2次中期経営計画：進捗状況

1. トップライン重視

コア事業および成長分野に注力できる
体制構築を推進

T I Sリース株式会社

リース事業全体の動向や経営資源の一層の
効率化の視点からリース資産を売却

リース事業から撤退

(TISリース株式会社：平成26年4月1日をもって解散)

事業の経過および成果

第2次中期経営計画：進捗状況

2.as One Company

グループ一体感の醸成およびブランドの強化

グループブランドを統一



IT HOLDINGS GROUP

Go Beyond

事業の経過および成果

第2次中期経営計画：進捗状況

2.as One Company

コーポレート機能の集約の観点から

**グループ共通システムの導入
シェアードサービスの活用拡大
グループ各社の事業拠点の集約 等
に向けた検討や準備を開始**

事業の経過および成果

第2次中期経営計画：進捗状況

3.進取果敢

A S E A N地域を中心としたグローバル化への取り組み

現地拠点を開設

現地企業との合併会社設立や資本・業務提携

事業規模の拡大

グローバルサポート体制の充実

事業の経過および成果

第2次中期経営計画：進捗状況

3.進取果敢

サービス化への取り組み

これまで培ってきたノウハウや技術を活かし
**顧客ニーズを見据えた
企画・提案型のメニューを拡充**

事業規模を拡大

事業の経過および成果

第2次中期経営計画：進捗状況

3.進取果敢

キャッシュレス市場に対応した新たな決済手段。
国際ブランドのデビットカードおよびプリペイドカード
の発行・運営等をワンストップで提供するサービス



DebitCube+
デビットキューブプラス



PrepaidCube+
プリペイドキューブプラス

多くの引合いがあり受注実績が向上

事業の経過および成果

第2次中期経営計画：進捗状況

3.進取果敢

地方銀行向けに高いシェアを持つ統合型CRMシステムについては、クラウド型で提供開始したことで新たな顧客層の開拓を推進

F³ Flexible Financial Frontier
エフキューブ

F³（エフキューブ）
統合型CRM(顧客管理)システム

複数の地方銀行から受注獲得

事業の経過および成果

第2次中期経営計画：進捗状況

3.進取果敢

組立系製造向けクラウド型サービス品揃えが進化。
新たな予防保全支援システムの提供を開始



CareQube（ケアキューブ）
クラウド型「予防保全支援システム」

水道メーター情報を活用した
「高齢者見守りシステム」の実証実験に
応用されるなど、幅広い分野で活用見込み

設備投資の状況

既存事業の基盤強化
セキュリティなど信頼性の高度化への対応

125億 4,400万円

- アウトソーシング事業強化のためのデータセンター設備の増強
- 開発用コンピュータの整備・拡充

インテック万葉スクエア



心斎橋gDC(TIS)



GDC御殿山(TIS)



データセンター：国内外 全22拠点

資金調達の状況

平成26年3月期（当連結会計年度）

平成25年4月1日～平成26年3月31日

借 入

長期借入金[連結]	3 1 2 億円
-----------	----------

返 済

長期借入金[連結]	3 2 6 億 6, 4 0 0 万円
-----------	---------------------

対処すべき課題

1. 収益力の強化

プロジェクト管理の強化等の対策を
講じてきたにもかかわらず、当連結会計年度は
非常に大きな不採算案件が複数発生

**不採算案件の大幅な抑制と
生産性改善による収益力強化は最重要課題**

**組織整備やマネジメント人材の育成、
不採算案件対策の抜本的な見直しを徹底**

対処すべき課題

1. 収益力の強化

【事業面】

好調な市場環境の中で、確実に
利益に結びつける体制を確保することが重要

今後増大が見込まれるシステム開発領域、
収益性の高い事業分野に、
大胆なリソースシフトを行うとともに、
確実に受注を利益に結びつける体制構築

対処すべき課題

2. グループコミュニケーション基盤の強固化とグループ一体経営

市場・顧客、ならびにグループ内部において
グループブランドを浸透

「グループ一体経営」を加速させる

事業領域レベル・戦略レベルでも、
グループ内で特長ある明確な強み(成長エンジン)を構築し、
その強みの連携を強化

本社系機能は、シェアードサービスの活用拡大や、
グループ内での要員適正配置により、
機能集約やベスト・プラクティスの展開

更なる効率化と業務品質の高度化を図る

対処すべき課題

3. グローバル化・サービス化への取り組み深化

全体最適の視点で合理化・効率化を図る

グループ横断的にサービス提供できるよう事業を展開

中国東部地域の人件費高騰に伴う、
収益構造悪化への対応

ASEAN地域全体を含む拠点・機能配置の見直し

グローバル事業の規模拡大への対応

現地企業との資本提携等、事業展開手段の多様化を推進

サービス化事業の事業規模拡大

市場ニーズに合致した企画型サービスの更なる強化

財産および損益の状況

**「招集ご通知」
8頁から9頁に記載**

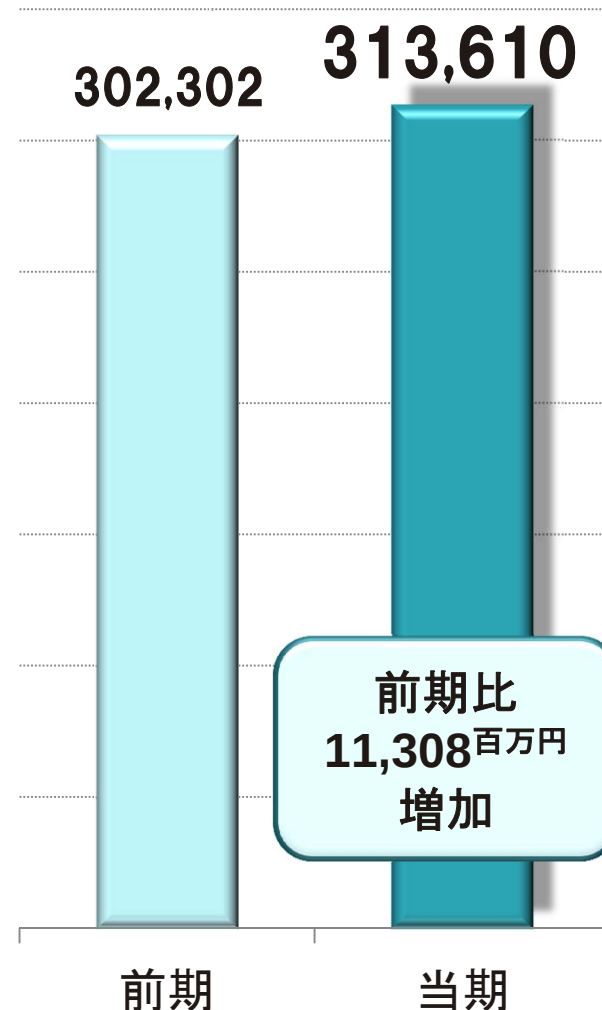
会社の概要など

**「招集ご通知」
10頁から22頁に記載**

連結貸借対照表

(単位:百万円)

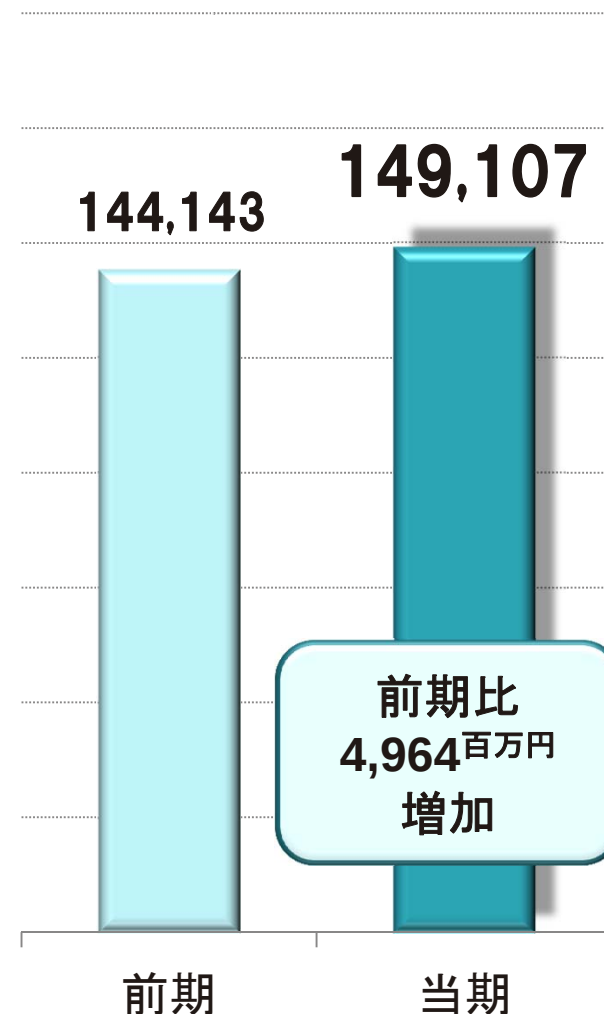
科目	平成26年3月期
(資産の部)	
流動資産	143,519
固定資産	170,091
資産合計	313,610



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	平成26年3月期
(負債の部)	
流動負債	72,790
固定負債	76,316
負債合計	149,107
(純資産の部)	
純資産合計	164,502
負債・純資産合計	313,610



連結損益計算書

(単位: 百万円)

平成26年3月期 (第6期)	
売上高	346,647
営業利益	19,510
経常利益	18,971
当期純利益	7,913

連結損益計算書

(単位: 百万円)

平成26年3月期 (第6期)	
売上高	346,647
営業利益	19,510
経常利益	18,971
当期純利益	7,913

連結損益計算書

(単位: 百万円)

平成26年3月期 (第6期)	
売上高	346,647
営業利益	19,510
経常利益	18,971
当期純利益	7,913

連結損益計算書

(単位: 百万円)

平成26年3月期 (第6期)	
売上高	346,647
営業利益	19,510
経常利益	18,971
当期純利益	7,913

連結株主資本等変動計算書

**「招集ご通知」
25頁に記載**

＊ ＊ ＊

連結注記表

**当社ウェブサイトに掲載
(法令および定款第16条の規定に基づく掲載)**

当社の計算書類

貸借対照表・損益計算書 株主資本等変動計算書

「招集ご通知」
26頁から28頁に記載

* * *

個別注記表

当社ウェブサイトに掲載
(法令および定款第16条の規定に基づく掲載)

現在までにご報告した事項

事業報告

連結計算書類

計算書類 など

連結計算書類に関する監査結果報告

第1号議案

剰余金処分の件（招集ご通知:32頁）

期末配当（普通株式）

1株につき **17円**

（中間配当8円と合わせ、年間配当は1株につき25円）

総額 1,492,340,937円

＜効力発生日 平成26年6月26日＞

取締役9名選任の件（招集ご通知:33～36頁）

**取締役全員(9名)
本定時株主総会終結の時をもって
任期満了**

**取締役9名選任
(重任)**

第2号議案

取締役9名選任の件



金岡 克己
(かなおか かつき)



桑野 徹
(くわの とおる)

第2号議案

取締役9名選任の件



盛田 繁雄
(もりた しげお)



滝澤 光樹
(たきざわ こうじゅ)

第2号議案

取締役9名選任の件



河崎 一範
（かわさき かずのり）



加藤 明
（かとう あきら）

第2号議案

取締役9名選任の件



小田 晋吾
(おだ しんご)



石垣 禎信
(いしがき よしのぶ)

第2号議案

取締役9名選任の件



前西 規夫
(まえにし のりお)

第2号議案

取締役9名選任の件



金岡 克己



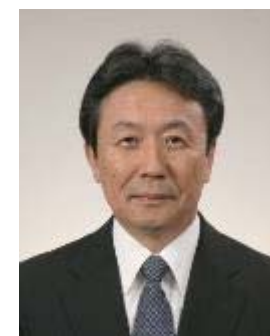
前西 規夫



桑野 徹



盛田 繁雄



滝澤 光樹



河崎 一範



加藤 明



小田 晋吾



石垣 禎信

第3号議案

監査役1名選任の件（招集ご通知:37頁）

**辞任により、監査役 竹田 勝 氏 が
本定時株主総会終結の時をもって退任**

**補欠(後任)の監査役として
監査役 1名選任**

**任期は、当社定款の定めにより前任者の残任期間
（平成28年3月期に係る定時株主総会終結の時まで）**

第3号議案

監査役1名選任の件



笹 倉 優
(ささくら まさる)

質疑応答

- ご発言・ご質問の際は、挙手願います。
- ご発言の際には、「出席票」の番号とお名前を願います。
- ご発言・ご質問は、簡潔に、一問ずつ願います。

議案の採決

第 1 号議案 剰余金処分の件

第 2 号議案 取締役 9 名選任の件

第 3 号議案 監査役 1 名選任の件

議案の採決

第 1 号議案 剰余金処分の件

第 2 号議案 取締役 9 名選任の件

第 3 号議案 監査役 1 名選任の件

議案の採決

第 1 号議案 剰余金処分の件

第 2 号議案 取締役 9 名選任の件

第 3 号議案 監査役 1 名選任の件



IT HOLDINGS

Go Beyond

新任監査役のご紹介



笹 倉 優
(ささくら まさる)



IT HOLDINGS

Go Beyond